

公共施設の在り方とは？

全国における公共施設の現状

現在、全国の自治体において公共施設の老朽化が問題となっており、施設の耐用年数を超えている、または10年以内を超えるとされる公共施設は、全国で4割以上（総務省調べ）にのぼると言われています。

芝山町における公共施設の現状

当町にも、公民館、共同利用施設、スポーツ施設、学校などさまざまな公共施設がありますが、それぞれ老朽化が進んでおり、施設の大規模な改修や建て替えが必要となっています。

しかし、人口の減少や少子高齢化が進展する中、町税収入の減少など多額の財源不足が見込まれ、全ての施設を建て替えることは困難な状況です。

そこで町民の皆さんから「今後の公共施設の在り方」についてご意見やご提案を頂戴するため、16歳以上1,500人の方を対象にアンケートを実施しました。

平成28年8月から9月に実施した「町の公共施設に関する意識調査」の結果について概要をご報告いたします。

◎ 総務課 契約管財係 ☎ 77-3907

将来の芝山町

人口

人口は、現在の約7,500人から減少し、2030年には、約6,000人になることが予測されていて、**高齢化率は約41%**(現状約32%)を超える

※社会保障・人口問題研究所の推計人口を参考

公共施設

町が現在保有している施設(約5.3万㎡)の**約40%が築30年以上**となっており、今後、さらなる老朽化が進行する

※道路や橋、上下水道などのインフラ系施設を除く

公共施設の在り方を考えることが必要！

アンケートの調査対象

調査対象	16歳以上の町民から抽出した1,500人(各旧小学校区人口比率に合わせ配布)
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査時期	平成28年8月から9月
回収状況	656票 / 1,500票 (43.7パーセント)

皆さんから寄せられた貴重なご意見は、今後の公共施設に係る施策展開に生かし、より良い行政運営に努めていきます。

アンケートにご回答いただきました皆さん、ご協力ありがとうございました。



※結果の詳細については、町ホームページに掲載しています。

アンケート結果概要

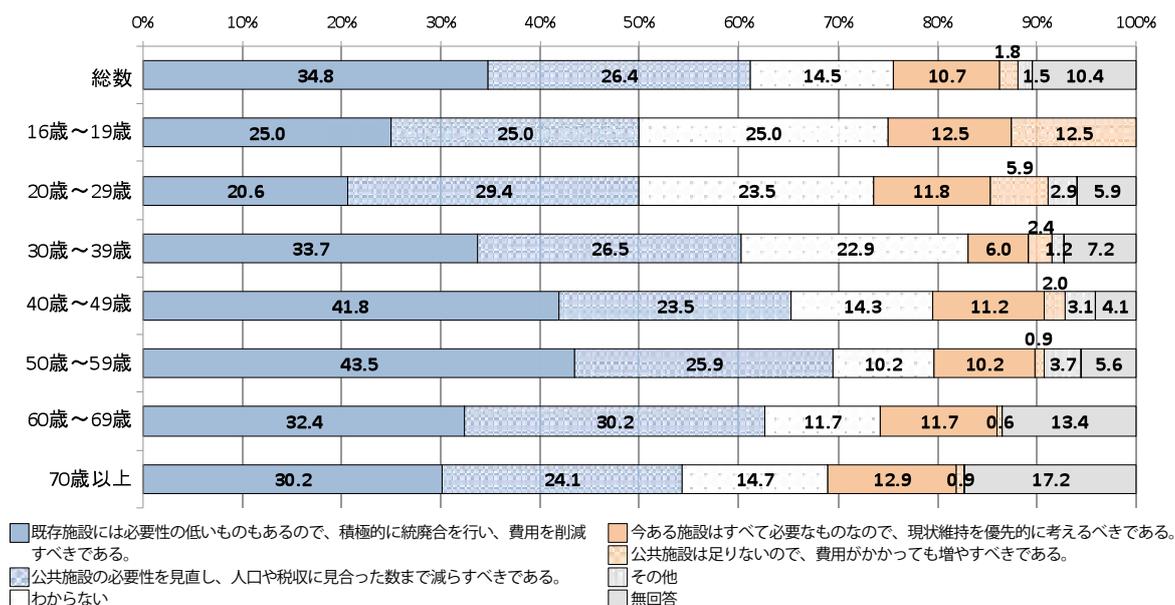
問1 最近1年間の公共施設の利用状況について

- ・各公共施設を利用しない理由としては「施設の存在やサービスの内容を知らない」という回答が多数を占めました。
- ・スポーツ・レクリエーション施設は、全体的に利用者が少ない傾向にありました。

問2 今後の公共施設整備について

- ・今後の公共施設整備については、「既存施設には必要性の低いものもあるので、積極的に統廃合を行い、費用を削減すべきである」という意見が最も多くありました(図1)。
- ・減らしても良いと考える施設は「利用度が低い施設」が最も多く、次いで「老朽化した施設」「町民のニーズに合わなくなった施設」となりました。
- ・具体的に減らしても良いと考える施設として「共同利用施設」が最も多く、集約化したほうが良いという意見がありました。
- ・公民館は一つで十分という意見があり、「中央公民館千代田分館」は減らしても良い施設として挙げられました。
- ・「大台青年研修所」は利用度が低く使用用途を知られていないため、減らしても良いという意見がありました。

■今後の公共施設整備についての考え(単一回答)(図1)



問3 利用者が負担する費用について

- ・「使用する照明や空調などの光熱水費相当分は利用者が負担すべきである」という回答が最も多くなりました。

問4 使用料の基準について

- ・問4を見ると、施設運営にかかるコストは使用料で賄うことに対して町民の理解があると考えられます。

問5 公共施設を維持していくための今後の対策について

- ・今後の対策について、直接的に町民負担が増加する対策については、否定的な回答が多くなっています。
- ・民間を活用しながらサービスを維持していく方向性について、理解はあると考えられます。